



#### 4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	○ 達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

#### 5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	市民の生命、健康を脅かす事態が発生し、市政及び市民生活に多大な混乱を起こすことが想定される場合に対し、健康被害の発生予防、拡大防止、原因究明及び医療体制の確保等へのニーズは高まっており、地域における健康危機管理事象への備えを充実させることは重要であると考えます。
見直し・改善内容	新型コロナウイルス感染症をはじめとした新興・再興感染症が拡大するなど、重大な健康危機管理事案に的確に対応するとともに、今後多様化する様々な健康危機管理事案発生時に備え、平時より担当職員の対応能力の向上を図り、関係機関との連携体制や、人的・物的に整備を行っていく必要がある。